

令和5年度山形県へき地診療所等におけるオンライン診療モデル事業概要

1 背景

- ・ オンライン診療は、情報通信技術の発展並びに地域の医療提供体制及び医療ニーズの変化に伴って、近年ますます需要が高まっており、特に交通の便が悪い山間地や離島などにおいて有効な活用方法と考えられている。
- ・ 本県では、全国に先んじて人口減少・高齢化が進行しており、県内どこに住んでいても質の高い医療を享受できるようにする必要があるが、特に、へき地診療所では月数回～週数回しか医師の派遣を受けられないなど、継続した診療日数の確保が課題となっている。

2 事業経緯

- ・ 令和4年度より、村山地域と最上地域において、へき地診療所を受診する患者が、看護師等から診察と情報通信機器の利用介助を受けながら、病院にいる医師からオンライン診療を受けるモデル事業を実施している。
- ・ 取組みにより、医師のへき地診療所への移動の負担が軽減されるとともに、情報通信機器の操作に不慣れな高齢者等でも看護師等の適切なサポートによりオンライン診療による診察等を受けることが可能であること等が分かった。
- ・ 令和5年度は、新たに置賜地域において公立置賜総合病院と飯豊町中津川診療所を繋いだオンライン診療を実施し、経営主体の異なる医療機関間によるオンライン診療について実証を開始し、成果と課題を整理する。
- ・ また、村山地域（西川町）においては、病院患者に対するオンライン診療とオンライン服薬指導について実証を開始し、成果と課題を整理する。

3 事業内容 ※NTTコミュニケーションズ株式会社東北支社への委託事業

添付資料のとおり

- ・【村山】大井沢診療所でのオンライン診療【R4・R5】
- ・【村山】西川町立病院患者へのオンライン診療・オンライン服薬指導【R5】
- ・【最上】釜淵診療所でのオンライン診療【R4・R5】
- ・【置賜】飯豊町中津川診療所でのオンライン診療【R5】